

「日本政策投資銀行防災格付」融資制度の格付の取得について

神戸電鉄株式会社（以下「当社」といいます。）は、平成23年12月、株式会社日本政策投資銀行が実施する「日本政策投資銀行防災格付」融資制度の防災格付審査において、防災を重視した企業経営が評価され、「防災の取り組みが優れている」との格付を取得しました。

「日本政策投資銀行防災格付」融資は、株式会社日本政策投資銀行が開発した独自の評価システムにより防災及び事業継続対策への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「防災格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度です。

当社は、安心・安全というコンセプトの下、独自に策定した危機管理フレームワークに基づき、インシデント毎の防災対策を定めるなど、有事における旅客輸送の確保に努めております。

今回、当社の防災に関する取組において、(1) 阪神淡路大震災の経験を踏まえ、緊急時の指揮命令拠点となる本社の被災リスクを考慮し、複数の代替指揮命令拠点を選定している点、(2) 駅舎、橋梁の補強工事や緊急地震速報受信装置並びに自動列車停止システムの導入といった不断の安全対策投資を進めている点、(3) 鉄道輸送機能が麻痺した場合でも、代替輸送を確保するためにグループ一丸となった災害対応計画のもと実効性を高めるべく訓練を実施している点等、が評価されました。

また、今回の「日本政策投資銀行防災格付」適用の融資に際しては、これらの当社の取り組みと地域社会での位置付けにご理解を頂いた当社地元の神戸に支店を持つ金融機関に限定したシンジケートローンによる融資を受けました。

当社は、今後も引き続き防災体制の強化に努めてまいります。



当社は、平成23年12月日本政策投資銀行（DBJ）より防災格付融資を受けました。